

あかつき

平成29年 第48号

介護老人保健施設 ふじいでら
在宅複合施設 ステップ
ショートステイ まつばら



9月~12月の
ご利用者の様子

テーマ
今までで印象に残っているできごと

2F
老健入所

江川 てる子様

今までで、1番印象に残っていること。旦那様が、亡くなったこと。「眠たいから、寝るわ」と言いそのまま亡くなられたそうです。「旦那にとって、私にとって1番良い亡くなりかたやった」と言われていました。その日は1日中号泣し、母親が亡くなった時より悲しかったそうです。

とても印象に残っている日。もし、生まれ変わっても「また、結婚したい」と笑顔で話されていました。今、もし旦那様が生きていたら「お父さん長生きしいよねー」と言いたいそうです。(中田)



村田 年正様

今回のテーマについて利用者様に伺ったところ少し迷われてから「3~4日ぐらいかけて富山~青森の手前まで行ったことやな」とのことです。独身時代に一人で旅行に行かれ、車で隣に座られたかたと様々なお話をされ道中を楽しまれたそうです。「一人でいくと、相手の都合とか気にしやんでいいやろ?それに、男一人やからな」と笑いながら話してくださいました。最後に「また、行けるなら行きたいな...。もう、体力的に厳しいけどな...」とポロリ...。(清野)



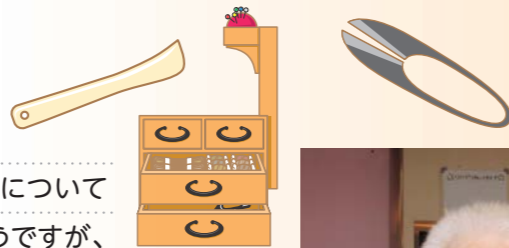
4F
老健入所

高橋 文美子様

4階入所中の最高齢者96歳の高橋様に今回のテーマについて話を伺ったところ、やはり戦時中の事が思い出されるようですが、その中でも若い時から続けていた和裁の事を色々話して下さいました。

高校を卒業後に移ってきた大阪で祖母から裁縫を教わったそうで、それをきっかけに和裁が得意になり、「戦後の物がなかなか手に入らない時でも1枚の布から自分の着物や息子たちの服を縫って作っていた。そのうち袴も作れる様になって能楽堂で使う本格的な袴も作っていた。」と得意気に話されました。

最近は色々な物が気軽に買える時代になりましたが、高橋様は今でも手先の器用さを活かして服のほつれなどを自分で手直しされています。(岸田)



3F
老健入所

老健入所クリスマス会

12月17日(日)

午後より1階デイルームでクリスマス会を行いました。フランダースのボランティアの方に来て頂いてみなさん喜ばれていました。



そして、サンタさんからプレゼントをもらい、みなさん笑顔で過ごされていて、いつもと違う雰囲気を楽しんで頂けたと思います。

入所餅つき大会

12月31日(日)

臼と杵を借り、みなさんと一緒に餅つき大会を行いました。みんなで、掛け声を出しながら、職員と一緒に餅をつきました。

「最近はしないからねー、お正月って感じていいなあ」と話してください、喜んで頂けたかなと思います。



新人紹介

老健看護 浅尾 理恵



入社して数ヶ月経ちました。まだまだ覚える事だらけですが、これからも頑張っていきたいと思っています。

ステップ1階介護 片部 幹子



ご利用者の皆様が気持ち良く楽しく過ごして頂ける様、頑張ります。

老健1階介護 仲辻 鈴代



ご利用者が、今日は楽しかった~!と帰って頂けるよう日々努力していきたいと思ひます。よろしくお願ひ致します。

ステップ1階介護 津田 和美



まだまだ慣れない事も多く皆様にご迷惑おかけしていますが、毎日楽しくお仕事させて頂いています。一生懸命頑張りますのでよろしくお願ひ致します。

老健1階介護 塩野 綾子



まだまだ未熟ですが、ご利用者様に気持ち良く過ごしていただけるように頑張ります。

老健1階介護 高木 良枝



「ご利用者様に安心してもらえる介護を」精一杯、がんばります。

ステップ3階介護 浅野 由子



ご利用者の気持ちに丁寧により添えるよう頑張りたいです。

編集後記

ふじいでらブログ
fujiidera-s.jugem.jp

まだまだ、寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか?今回は「今までで印象に残っているできごと」ということで、ご利用者様へお話を伺いました。みなさん様々な経験をされてきたようで、何を話そうか迷っていましたが、貴重なお話を聞くことができました。(水上)

HPはコチラ → 老健ふじいでら



社会福祉法人 慈恵園福祉会

介護老人保健施設 ふじいでら 〒583-0014 藤井寺市野中1-103-1
TEL:072-939-5330 / FAX:072-939-5227

在宅複合施設 ステップ 〒583-0014 藤井寺市野中1-44-1
TEL:072-939-5332 / FAX:072-939-5334

ショートステイ まつばら 〒580-0003 松原市一津屋3-1-16
TEL:072-337-6770 / FAX:072-337-6777

ステップ
1階

デイサービスステップ

河野 房榮様

お話を伺うにあたり、一番を決めるのは難しいと仰られていましたが、ご自身の考え方や人間関係の形成に深く関わるのは、横浜での生活でした。

ご主人の仕事の都合で大阪を離れ、娘さんと3人で横浜の地にて暮らすことになった河野さんでしたが、外国籍の方が数多く住み、異国情緒の溢れる横浜での生活はカルチャーショックもありましたが、好奇心旺盛な性格も幸いし良い



刺激をたくさん受けられ、インテリアやファッションなどに興味を持つようになっていきます。

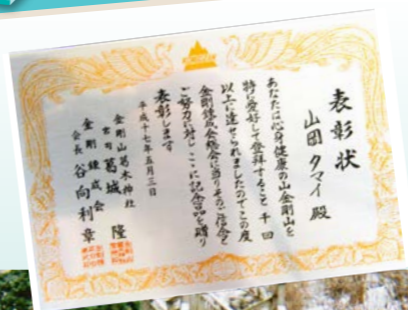
やがて大阪へ戻ることとなりましたが、横浜時代に培われた経験は、すべての物事に感謝し幸せに思える、河野さんの現在の生き方に大きな影響を与えています。(高瀬)



テーマ
今までで印象に残っているできごと

老健
1階

通所リハビリテーション

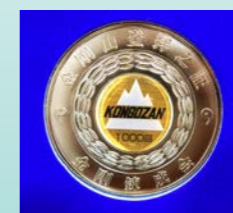


山岡 タマイ様



平成3年に初めて金剛登山に挑戦されました。(以前ロープウェイにて1度登ったことがあったそうですが)、それ以来11年間で約1100回(年100回ペース)登られました。

初めの頃はトイレに座れないくらい足が痛くなった事、登山で知り合った方に誘われスイミングを始めた事、1000回の記念に、山頂にある葛木神社に玉垣(神社の周りを囲んでいる石)を建てた事、75歳



で白内障を患い足元が見え辛くなり、登山を諦めた事、山岡様にとって金剛山は、忘れられない思い出がたくさんある宝の山です。(藤井)

ショートステイまつばら

船田 都紫子様

私は小さい時から父に「いらんのに出来て…」と言われて育ちました。一時は父の妹の所に貰われた事もあったけど、やっぱり実家が恋しくて戻ってきました。娘になって恋をして本当に大事にしてもらった恋人をガンで亡くして…

泣き暮らしていたところに現れたのが今の夫。京都のボンボンでね、この人も素敵な奥様を病気で亡くされていたのよ。この人にエライ惚れられてね、籍は入れずに一緒に暮らしてきたけれど、ようやく去年入籍して晴れて夫婦となりました。

とても前向きで明るい船田様、いつまでもお幸せに… (橋本)



ステップ
3階

グループホームステップ

中島 照代様

今まで生きてきた中で一番思い出に残っていることは、高島屋に勤めていた頃に、よく遊びに行った事です。

少しだけ派手な服を着て、ヒールの高い靴を履いて、よくお出掛けしていました。新しい服や靴を身に着けた時は、ワクワクしました。この頃が一番良かったし楽しかったです。(堀口)



通所クリスマス会

通所リハビリテーションでは12/19(火)・20(水)・21(木)の3日間クリスマス会を開催しました。職員の奮闘にみなさんととても楽しまれていました。(藤井)



高齢者の熱中症の特徴(看護より)

高齢者では、男女共に日常生活の中で起こる非労作性熱中症が多く、屋内での発症頻度が増加しています。また重症例が多いことも特徴です。労作性熱中症は健康な人が短時間で発症するため診断も比較的容易で、治療への反応も良く重症は少ないです。

一方、非労作性熱中症は日常生活の中で徐々に進行し周囲の人に気づかれにくく、対応が遅れる危険性があります。低栄養や脱水、持病の悪化、感染症など複合的な病態を呈します。

特に屋内で発症する非労作性熱中症は、高齢の女性、独居に多く精神疾患・高血圧・糖尿病・認知症などの基礎疾患を有する症例は重症化しやすいです。

高齢者の冷房使用頻度が少ないのは、体の冷えを嫌がり節電意識と老化に伴い皮膚の温度センサーの感度が鈍くなり、暑さを感じにくくなるのも原因の一つです。(嶋村)

